

かるたの ように、上の句につづく 下の句を ア～カ から えらんで、記号を 書きましょう。

ア きり 霧たちのぼるあき ゆうぐ 秋の夕暮れ

ウ みかさ やま い つき 三笠の山に出でし月かも

オ なが 流れもあへぬもみじ 紅葉なりけり

イ ごころ はな ち しづ心なく花の散るらむ

エ ころも あま かぐやま 衣ほすてふ天の香具山

カ からくれなゐにみず 水くくるとは

① はる す 春過ぎてなつ き 夏来にけらししろたえ 白妙の

じとうてんのう
持統天皇

こたえ

② ちはやぶるかみよ き たつたがわ 神代も聞かず竜田川

ありわらのなりひら
在原業平

こたえ

③ ひさかた ひかり 久方の光のどけきはる ひ 春の日に

きのとものり
紀友則

こたえ

④ やまがわ かぜ 山川に風のかけたるしがらみは

はるみちのつらき
春道列樹

こたえ

⑤ あま はら 天の原ふりさけみ かすが 見れば春日なる

あべのなかまろ
阿倍仲麻呂

こたえ

⑥ むらさめ つゆ 村雨の露もまだひぬまき は 槁の葉に

じゃくれん
寂蓮

こたえ

